

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：2025年 6月 1 日

事業所名 放課後等デイサービスCocoro籠田公園教室

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	3	0	利用人数が多い時などは部屋を分けたり中庭を利用する遊びなどを取り入れる工夫している。	
	2	職員の配置数は適切である	5	0	0	十分に必要な職員を配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1	0	玄関から部屋全体がバリアフリーになっている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	1	0	個別支援計画に基づいた支援を心掛けており、振り返りも行っている。	今は良いサイクルができつつあるため今後もスタッフの参画を促していく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1	0		利用者様向けアンケートを実施し、保護者様の意見を把握する機会を作る
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	0	Instagramやホームページを活用し公開をしている。	ホームページで公開していることを今後広く利用者に周知していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1	0	第三者委員会の評価は行っていない	今後時期を見て外部評価を行いたいと思っている
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	0	社内研修を行っている	今後は県の開催する研修等にもどんどん参加していただきたい
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	1	0	アセスメントは時間をかけて行い、保護者様だけでなく本児のニーズも踏まえた上での支援計画を作成している。	本児と面談する時間を設けられるようにしたい
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1	0	参加されたアセスメントツールを使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	0	定期的な社内ミーティングにてスタッフ立案を行っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	1	1	固定化しないように工夫している。	利用者様が楽しんで取り組めるプログラムを継続して考えていく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1	0	長期休暇等は個別に課題を決めている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	その子に合わせて個別と集団と分けている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	0	申し送りをし、当日の注意点や役割内容を確認をおこなっている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1	0	問題点を話し合い改善につなげている。 記録は毎日としている。	
	17	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1	0	半年に1回ないしそれ以前に必ずモニタリングを行い個別支援計画の見直しをしている。	